

【日 時】 令和2年9月30日（水） 10時30分～12時30分

【場 所】 高山市役所 4階 特別会議室

【出席者】（構成員） 高山市長 國島 芳明  
教育長 中野谷 康司  
教育長職務代理者 針山 順一郎  
教育委員 打江 記代  
教育委員 長瀬 信  
教育委員 白田 美樹  
(野崎 加世子委員は、所用につき欠席)

(構成員以外の出席者)

企画部長、教育委員会事務局長、市民活動部長、市民保健部長、福祉部長、商工観光部長、都市政策部長、企画課長、教育総務課長、学校教育課長、文化財課長、学校給食センター所長、協働推進課長、生涯学習課長、スポーツ推進課長、子育て支援課長、企画課係長、教育総務課係長、学校教育課係員

【会議内容（次第）】

- ・市長あいさつ
- ・教育長あいさつ、であい塾の取組み紹介
- ・議題
  - (1) 教育大綱の推進に向けた取組みについて 資料1、2
  - (2) 新型コロナウイルス感染症対策について 資料3
  - (3) その他 ※非公開

【議事要旨】

企画部長 本日はお忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第1回高山市総合教育会議を始めます。進行を務めます企画部長の田谷です。よろしく申し上げます。  
それでは國島市長より、挨拶を申し上げます。

市長 おはようございます。皆さまには総合教育会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また日頃は、高山市の教育行政の推進に、それぞれの立場で尽力いただいていることに、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。  
教育大綱を策定してから3年以上となりましたが、皆さまのお蔭を持ちまして、生まれる前から成人に至るまで、多くの子ども達、保護者、家族の方々が、教育に一層関心を深め、それぞれの立場でしっかりと取組んでもらえるようになってきたことは、大変嬉しく思います。今後とも、皆さまの力をお借りし、この教育大綱が、文字だけではなく、生活のなかにしっかりと根付いていくような活動を進めたいと思いますので、ご協力をお願いします。  
さて、春先からの新型コロナウイルス感染症が、世界中を巻き込み、社会的、経済的に大きく影響を及ぼしているところです。当市の教育関係でも、やむなく一斉休校を行ったり、夏期休暇の短縮を行ったり、修学旅行を見直したりなど様々な対応を進めているところです。また、学校では感染症が広まらないような様々な対策を行っており、PTAをはじめ教育関係者や地域の皆さま、一緒になって対応していただいております。大変ありがたいと感じています。また、第3波と言われるような感染拡大なども

想定して、オンライン教育なども含め、しっかりとした体制ができるようにしたいと思います。

特に経済的に苦しくなる家庭もあるなかで、子育て世帯に対する支援金の給付を行いました。今後もそのような対応を含め、しっかりとした教育環境が整えられるよう、進めてまいります。

現在の状況がいつ終息するかは想定できませんが、今できることをきっちりと取り組んでいくべきと考えており、この総合教育会議においても様々に議論いただき、政策に反映していきたいと考えています。

本日の会議では、教育大綱の推進に向けた昨年度の成果及び本年度の各事業の進捗状況などを報告し、ご協議いただきたいので、積極的にご意見を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

企画部長 続きます。教育委員会を代表し、中野谷教育長より挨拶をいただきます。

教育長 おはようございます。私からは、この場をお借りし、市長が言われたように、教育大綱を文字だけではなく、生活の視点で実践するため、現在、教育委員会が取り組んでいる内容、また今後の展望を紹介します。

（「であい塾の全市的展開」をはじめとする不登校児童生徒や保護者支援の在り方について説明）

企画部長 それでは、議題の方に入ります。高山市総合教育会議運営規程第3条の規定により、議長は市長が務めることとしていますので、ここからの進行を國島市長にお願いします。

市長 それでは進めさせていただきます。  
本日は、野崎委員は出張のため欠席です。よろしくお願いします。  
議題（1）教育大綱の推進に向けた取組みについてを議題とします。事務局は説明をお願いします。

企画課長 （資料1、資料2を説明）

市長 ただ今、多くの内容の説明がありましたが、委員の皆さまから、質問や意見等がありましたらお願いします。

各委員 なし

市長 私からですが、平成31年度の実績のなかで、予算額に対し、執行率の低い事業が少なくありません。平成31年度中はどのような執行をしていたのか、執行率が低い結果となった理由、それを受けて令和2年度現在はどう対応しているかなど、各部署でチェックしておくようお願いします。  
質問や意見等はないようですので、以上で議題（1）は終了します。  
次に議題（2）新型コロナウイルス感染症対策についてを議題とします。事務局は説明をお願いします。

学校教育課長、子育て支援課長 （資料3を説明）

市長 この件について、何か質問や意見等がありましたら、お願いします。

針山委員 今年最初の総合教育会議ですが、個人的には最後の会議になります。教育委員として務めさせてもらいましたが、本当にありがたかったと思います。総合教育会議ができたお陰で、このような場で子ども達のことを語れることは非常にありがたく、また、教育大綱に沿って様々な施策が充実してきており、大変嬉しく思います。

良い施策を成就させていくには、関係課の連携が一番重要となると思います。例えば、資料2の3ページの「すべての子どもに、その子にとっての居場所をつくること」のところで、協働推進課が中心となり取組んでいる項目と思いますが、教育長から提案のあった「全市的なであい塾の展開」についても、居場所に困っている子どもに対する支援ということで、協働推進課と一緒にあって、取組むことも良いのではと感じました。

最近の学校教育のなかでは、子ども達ではなく保護者の側に問題があるなど、非常に多岐に渡った問題が発生しています。過去には、生涯学習課が保護者に対する講演会を開催した際、本当に参加してもらいたい家庭が、なかなか参加されないといった問題がありました。

子育て支援課においても、学校での情報がもう少し分かっていたら家庭への対応が適切にできたといったことや、逆に、子育て支援課で受けた相談について学校でも状況が分かっていたら、子どもや保護者、関係者にとって良い対応につながるといったことも、色々と聞かせてもらいました。

総合教育会議があることにより、市長はじめ関係の皆さまで、大切な子ども達の話ができる機会を持つということは、非常に有意義だと思いますので、今後もそのようにしてもらいたいと思います。

やはり連携して取組まないと、成就することが難しく、今の菅政権でも、縦割りではなく、横割りの行政を標榜されています。それぞれの部署が様々な情報を共有しながら、施策に反映していくと、大きな力になると思います。

市長 企画部長どうですか。

企画部長 針山委員が言われるように、教育大綱ができたことは大きいと感じています。幹部会等においては、教育大綱に基づき、教育分野のみでなく全庁的に高山市政はどうすべきかといった議論や調整を行っています。様々な施策を進めるうえでは、主管課だけで進めるのではなく横断的に取組んでいく必要があります。各部署はどう役割を果たすか、どういった関わりができるのかといったことを常に念頭に置き、各種施策を進める必要があると捉えています。

市長 他にいかがでしょうか。

長瀬委員 資料1も含め、お話したいと思います。

本当に日頃、教育行政に非常に力を入れていただいていることを実感します。ここ数年では、ICT教育環境の整備が大きな課題でしたが、早く整備していただき、本当に感謝しています。説明にもありましたが、今後は、ICTを活用した教員の指導力の向上や指導の工夫など、ソフト面の取組みを進める必要があると強く感じました。次に資料3で、感染症対策において、スクールサポートスタッフの配置は23名との説明でした。市内の小中学校は31校ですが、どのように配置されているか教えてください。

行事等の見直しについて、中体連の三市一村交流大会、運動会や体育祭について、何校か見学しましたが、どの大会や学校も、新型コロナウイルス感染症防止対策には様々な取組むなかで運営されていたことについて、見学した者として、皆さまに報告

しておきたいと思います。

修学旅行について、新型コロナウイルスの件が無かったとしても、宿泊を伴ったり、遠距離へ行くといった行事は、参加を躊躇する子ども達が出てくる可能性があります。特に今回は、新型コロナウイルスに対する不安から、参加したくないと思う子ども達や保護者がいることも考えられるため、教育委員会では各学校と連携して、できるだけ全員が参加できるような体制を作っていただくよう要望します。

最後ですが、心の支援について、新型コロナウイルス感染症対策ですが、昨年度に比べ、いじめの認知件数が前年同期比で増えている状況があります。やはり子ども達が学校に行けなかったことや、これまでできていたことができなくなったストレスを感じている部分があると思いますので、今まで以上、十分に配慮しながら子ども達に向かい合っていたいただきたいと思います。

市長 スクールサポートスタッフ、修学旅行に対する考え方、心の支援について、学校教育課長からお願いします。

学校教育課長 スクールサポートスタッフについては、各校に1名で31名の採用を考えていましたが、既に地域のボランティアに入ってもらえた学校や、まちづくり協議会の協力により交代で入ってもらえた学校、規模が小さいため必要ないと言われる学校もあったため、最終的に23名の方々に入ってもらっています。

修学旅行については、より多くの子ども達に参加して欲しいためツアーナースの同行を計画しましたが、ツアーナースが居るならば参加させたいという保護者もみえたと聞いています。昼間だけ一緒に活動するなど、様々な修学旅行への参加方法が選べるよう各学校では対応しているため、新型コロナウイルス感染症を理由として不参加を申出た家庭があるとは、今のところ聞いていません。

心の支援について、学校によっては月に一度アンケートを取ったり、教育相談で必ず1人の子どもと10分以上話をするなど、様々な方法をとっています。子ども達は、学習への不安、家庭内の不和に対する心配なども教師に相談しています。

ヘルプサインの出し方を伝えている学校もあり、子ども達に対し、学校のなかの先生誰にでも相談して良いと伝えたり、スクールカウンセラーへの相談方法を教えたり、「心のポスト」を設けて毎日確認するなど、各学校では様々な工夫をしています。

市長 他にいかがでしょうか。

打江委員 私も針山委員と同じく、今日で教育委員は終了となりました。これまでありがとうございました。

教育大綱を策定する時から携われたことに感謝しています。各課では、子ども達のために目をかけ、予算をかけて、本当に一生懸命に取り組んでいることがよく分かり、机上だけではなく、きちんと実行され、様々な形作られていることは本当にありがたいです。

困ってみえる家庭に対しては、やはり現場や現状を知らないと分かりません。私達も現場、現状、現物を見ることを大切にしており「三現主義」と言っていますが、現状がどうなのかということをしつかりと把握されている、施策に反映されていると感じましたので、これからも現場を踏まえていただきたいと思います。

20年前では高山ではエアコンは必要ないと思われていたかもしれませんが、私達ではどうにもならない気候の大きな変化があるなかで、学校にもエアコンが設置され、子ども達が快適に、熱中症にならず、勉強に取り組めることは、とてもありがたいと思います。

時代の流れとともに、ICTが急速に発展するなかで、学校にも様々な取り入れられ、電子黒板も入れていただき、本当に感謝しています。

最後に、コロナ対策ですが、先日市長が、ストップ・コロナハラスメントを訴えられていました。学校でも、例えば検査しただけで差別を受けたり、嫌がらせを受けたりといったことがないように、いかに子ども達や保護者に働きかけていくのが重要であると思いました。学校へ行けなくなるといったことがないように、市長の想いを学校に展開して行って欲しいと思います。

市長 ハラスメントの関係で、学校で考えていることがあればお願いします。

学校教育課長 学校では、他市で発生した医療関係者がハラスメントを受けるといった事案を道徳の授業で取り上げ、どういった意識でそのようなことが起きるのか、どのように対応すれば良いのかなどについて学んでいます。それらの授業を学校運営協議会の委員の皆さまに公開している学校もあります。その他、PCR検査を受けて陽性だった場合にどうするか、どういったことを子ども達に伝えるのか、保護者にどのような文書で啓発するのかなどについて、現在、シミュレーションしています。

市長 他にいかがでしょうか。

白田委員 最近、保育園の先生と話す機会がありましたが、園児はマスクを付けることが大変ではないかと尋ねたところ、意外としっかりと保育園のなかでマスクを付けているとのことでした。コロナ対策のためマスクが必要と口に出して伝えているとのことで、家庭で家族からも話して、身に着いているのだと非常に感心しました。それと相反するような話になりますが、先日、他県ナンバーですが飛騨在住ですとのステッカーを貼っている車を見ましたが、市内でもこういった偏見があるのかと身近に感じましたし、悲しくなりました。ハラスメント防止の市長メッセージを見ましたが、実感もしましたので、各家庭で保護者がマスク、手洗いが必要といったことに加えて、ハラスメントはあってはならないことも子ども達へと伝えていくことがとても大事と感じました。

市長 保育園の取組みは福祉部から、全体的なハラスメントについては市民保健部からお願いします。

子育て支援課長 保育園におきましては、新型コロナウイルス感染症以前から感染症等の防止対策には気を付けているところですが、委員の言われたマスクのほか、消毒の一層の徹底、通園バスや行事における対策、参観日や園内への入場の制限など様々に行っているところで、今後も引き続き取組みます。

市民保健部長 新型コロナウイルス感染症については、「正しく恐れる」ことが大切で、これまでも様々な啓発を行ってきました。県のストップ「コロナ・ハラスメント」宣言を受け、先日は市長メッセージも出ささせていただきましたが、ポスターなども作りながら、PRしていきたいと思います。人権担当では、講演会の開催により市民の皆さまに意識を持っていただくとともに、地域内で第一号の感染者が出たときに、恐れていたようなハラスメントが発生しないように、しっかりと啓発していきたいと考えています。

生涯学習課長 生涯学習課では家庭教育を支援しており、今晚、PTA連合会の会議が予定されていますので、市の補助金を活用してコロナ・ハラスメント関係の講演会等を開催できることなどについて、周知させていただきます。

市長 他によろしいでしょうか。

針山委員 新型コロナウイルス感染症対策について、市は先手先手で一生懸命、各種施策に取り組んでもらい本当にありがたいと思っています。  
私見ですが、飛騨地域は岐阜地域などと異なり、比較的安全な土地柄と考えており、今後、飛騨地域でも陽性患者が絶対に発生しないとは限らず、対策は怠るべきでは勿論ありませんが、先程「正しく恐れる」との発言がありましたとおりに、あまりに恐れては良くないと感じます。  
小学校の運動会を参観しましたが、盛り上がっているところと、あまりに恐れ過ぎて元気がないところで、大きく異なっていると感じました。  
民宿や旅館業を営む知人が多いため、国や自治体の様々な施策で助かっている部分もあるのですが、従業員を含めて生活的にかなり厳しいと聞いており、恐れすぎてしまっただけで地域の活性化の面が心配されます。  
今の飛騨地域では、大勢のお客さまに来てもらうことが非常に大事と思う一方で、今後も地域内で感染者の発生や感染拡大が起きた場合を想定した対応などを検討されてみえると思いますが、経済の活性化と感染防止の両立に向けて、市長は、今後の方針をどのように考えてみえるか伺います。

市長 議会の一般質問、委員会の議論でも同じ趣旨の質疑がありましたが、委員の言われるとおりに両方の心配があります。  
新型コロナウイルス感染症が地域で蔓延した場合は、罹患された方の生命に関わるような問題があるほか、地域医療がシステム崩壊する可能性もあり、感染防止の面での課題となっています。医師会の協力を得るなどいくつかの施策が進められており、いざという時には、対応できるようになっています。  
もう一方の経済活性化の面では、人が集まること、多くの人移動するといったことが、感染症の蔓延に拍車をかける可能性があるため「ステイホーム」「動かない」という国の方針が出され、人が動かず、観光が成り立たないといった状況が生じました。高山市ではおよそ4～5割の経済活動が観光関連で成り立っている現状のなかで、感染症から命を守ることと、経済悪化から命を守り続けることは、同程度に考えられるようになってきています。  
「アクセルを踏みながらブレーキを踏む」などと言われることがありますが、そうではなく、その場その場でしっかりとアクセルは踏まなければならないと思っています。高山においては、現在、市民の皆さまのご協力のお陰で、感染者が出ていないということは大変ありがたいと思っていますが、経済の立て直しに比重を置いて、この難局を乗り切っていく必要があると思っています。  
様々な考えがありますので、私の所には非常に多くの意見や電話などをいただいておりますが、現状は、その時々踏むべきアクセル、ブレーキは、感染防止と経済活性化の両面にあると捉え、対応しているところです。

針山委員 教育長からの「全市的なであい塾の展開」の関係で、私もずっと不登校児童生徒のことを心配していました。現在、不登校気味まで入れると200名近くの児童生徒がいます。全体からの割合にしては2～3%かもしれませんが、今後、それらの子ども達が大人になって、社会問題となっているひきこもり、8050問題、家庭崩壊などにも繋がりがねないと感じています。  
西小にフリースクールを設置し、不登校の子ども達の受入のための支援員を配置してもらいましたが、現在のところ利用する子どもは少ない状況です。不登校の児童生徒は、全員ではないかもしれませんが、学校施設のなかにある場所ということに対し、拒否感を持ってしまうことがあります。「であい塾」の場合は、一之宮支所を使用しており、学校と離れていることで、来やすいといった部分もあると思います。原因が心の病といったこともあるため、無理に来させるようなことはすべきでない

と思いますが、「であい塾」と言っただけで、うちの子はそういう所は駄目ですと答える親もあります。

「であい塾」は、市も予算をかけて良い形になっていますが、実際に利用しているのは、20～30名程度というのが現実です。教育長の言われた「全市的な展開」については、そのような事にも配慮して進めていただきたいと思います。

新たな施設整備には、予算の問題が出てきます。「であい塾」30周年の行事の際、森瀬元教育長が、「であい塾」は中山公園野球場の管理棟を借りて開始したと話されました。現在、公共施設の精査を進めていると思いますが、市や教育委員会の施設で、もし使える場所があれば、活用していただきたい。子どもの居場所を作るための全市的な展開においても、お金をかけなくても知恵を出して対応できることがあると考えるので、引き続き、一緒になって進めてもらいたいと思います。

不登校の児童生徒が、全員ではないにしろ成人の引きこもりとなっていく確立が高く、全国で何十万人も引きこもりの方がみえ、社会的な損失となっています。生産性や活力の低下にも繋がりますので、しっかりとした対応をお願いしたいと思います。最後に、タブレットなど様々なICTが学校教育にも取り入れられていますが、子ども達の教育というのは、やはり触れ合いがあることも非常に大事であるため、子どものスマホではないですが、ITだけ、画面を見てだけではどうかと思います。今後、教育委員会も人との触れ合いを大切にする様々な取組みを進め、教育委員や各部署の力を貸していただくと、先生方も助かると思いますので、よろしくお願いします。

市長 「であい塾の全市的な展開」については教育委員会事務局長から、子ども同士のふれあいについては学校教育課長からお願いします。

教育委員会事務局長 「であい塾の全市的な展開」の考え方は、冒頭に教育長が話されたとおりです。学校のなかにある施設には行きにくい、学校に対する拒絶反応がある児童生徒もみえるということは、承知しているところです。

施設の有効活用につきましては、現在行っている「移動であい塾」では、清見の支所庁舎や国府の福祉の里を使うなど、工夫しながら取り組んでいますので、針山委員が言われることを十分踏まえて、今後も取り組んでいきたいと思っています。

学校教育課長 ICTに関しては、休業中にWebで授業を行った学校において、不登校の子どもがWebの授業でなら参加できたという実績もあり、そういった意味からも大切なツールと考えています。

一方で、委員が言われるように、子ども同士、人と人の繋がりは欠かせないものです。子ども達は、最近、もっと友達と話し合い活動をしたいといったことを話しており、人から学ぶことは非常に重要ですので、引き続き、大切にしていきたいと思っています。

市長 ありがとうございます。この関係につきましては、区切りとさせていただき、次に、移らせていただきたいと思います。

議題3は、個人情報を含む案件のため、「地方教育行政の組織および運営に関する法律」第1条の4、第6項ただし書きの規定に基づき、これより会議を非公開とさせていただきますが、これにご異議ありませんか。

各委員 異議なし。

市長 異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

\*\*\*\*\*  
(個人情報保護のための非公開部分)  
\*\*\*\*\*

市長            それでは、ただいまより、公開に切り替えさせていただきます。  
                  以上で、本日の議題は全て終了しました。その他として、皆さまより何かありましたら承りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員            なし

市長            私から一言お願いします。  
                  針山委員、打江委員には大変長きにわたり、教育委員として、様々な面で助言や支援をいただいたことに、感謝申し上げます。  
                  先ほど打江委員から話されましたとおり、皆さまと一緒に総合教育会議で議論し、教育大綱を作り上げてきたということで、私にとっても大変感慨深いものがあります。今日をもって両名は教育委員を退任されますが、どうか今後とも、高山市の教育並びに市民生活の様々な面で、変わらぬ支援や指導をいただければと思います。  
                  何がともあれ、体にはご自愛いただき、健康に過ごしていただくことをお願いし、私からのねぎらいと感謝の言葉とさせていただきます。  
                  本当にありがとうございました。  
                  それでは、以上をもちまして、第1回高山市総合教育会議の議長を終えさせていただきます。進行を事務局に戻します。

企画部長        それでは以上をもちまして、令和2年度第1回高山市総合教育会議を終了させていただきます。  
                  第2回の会議につきましては、また改めて連絡させていただきますが、令和3年度に向けた主な取組みなどについて、年度末頃に開催する予定ですので、お願いします。  
                  お疲れ様でした。

終了